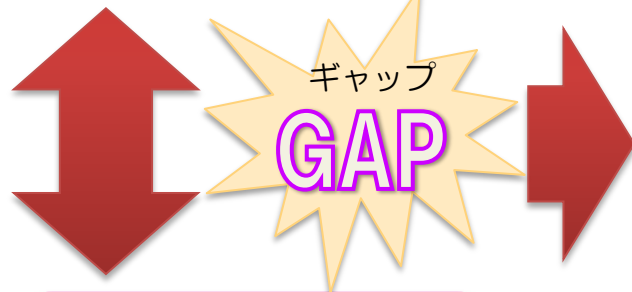


理想

- ① 静岡市の事業について知ってもらうこと
- ② 事業をきっかけに地域の魅力に気づいてもらうこと
- ③ 事業に市民が参加し、地域を盛り上げていくこと
- ④ 事業をわたしたち大学生が周りに発信したいと思えるようになること
- ⑤ 静岡市に人が集まること



現実(課題)

- ☆事業内容をアピール出来ていない
- ☆静岡市民の認知度が低い
(例：東海道二峠六宿イベントを知らない)
- ☆事業に話題性や意外性がない
- ☆ターゲットが曖昧

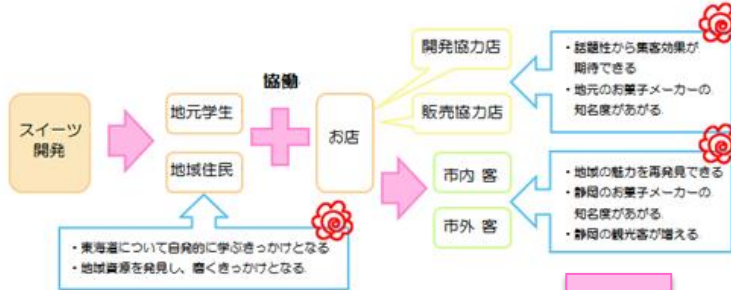
東海道スイーツ

<<六宿ごとに各宿場の特徴を活かしたスイーツを作る>>

◎スイーツ = ^{メディア} 媒体!!

美味しいもので興味をひきつけ、そこから東海道二峠六宿の利用・認知をはかる。各宿場にちなんだスイーツをつくり、各宿場の魅力をアピールできる仕組みを作る。

☆人々を巻き込む！



左図のように、スイーツ開発によって地元学生や地元企業とのつながりが生まれる。ほか、学生（若者）の発信力にも期待できる。

☆東海道二峠六宿リレーイベントの周知をはかる

- ・地元のお店と協力（若者の集まる商業施設に販売を依頼）
- ・メディアの活用（TV、Twitter・Facebook等のSNSでの宣伝、情報拡散）
- ・若者や歴女の発信力に期待する
- ・徳川家康公顕彰四百年記念事業や歴史文化施設との連携

